

第1 監査の種類

財政援助団体等監査（公の施設の指定管理者監査）

第2 監査の対象

次表の指定管理者及び施設の管理に係る住宅都市局の事務を対象として実施した。

公の施設	指定管理者	指定管理期間
名古屋市営久屋駐車場	タイムズグループ	平成30年 4月 1日 ～令和 5年 3月31日
名古屋市営金城ふ頭駐車場	名鉄協商株式会社	平成29年 3月 1日 ～令和 9年 3月31日

第3 監査の着眼点

- 1 公の施設に係る事業運営は協定に沿って適正に行われているか
- 2 公の施設の管理に係る会計経理は適正に行われているか
- 3 公の施設の管理に係る事業報告書及び収支計算書は、適正に作成されているか

第4 監査の実施内容

1 実施時期

令和 2年 8月31日から令和 3年 3月23日まで

2 実施方法

今回の監査は、名古屋市監査委員監査基準に基づき、監査の対象が処理している事務のうち、主として平成31年 4月 1日から令和 2年 3月31日までに指定管理者が執行した公の施設の管理に係る出納その他の事務について、書類等突合などを試査により実施し、必要な事項については実査を実施した。

また、指定管理者に対する財政援助団体等監査に併せて、住宅都市局所管の事務のうち、公の施設の管理に係る事務の執行について、書類等突合などを試査により実施した。

第5 監査結果

前記第4のとおり監査した限りにおいて、以下のとおり一部に指摘すべき事項が見受けられた。

指定管理者においては、今後の事業執行にあたり、該当する事項については是正されたい。所管局においては、指定管理者に対し是正内容の確認や、助言、指導を行うほか、自らに該当する事項を是正するとともに、同様の事務上の処理誤り等が発生することのないよう必要な措置を講じられたい。また、所管局において措置を講じた場合は、その旨を通知されたい。

1 事業報告書の適正な作成について（その他事務）

名古屋市営久屋駐車場（以下「久屋駐車場」という。）の管理運営については、名古屋市営路外駐車場条例施行細則や基本協定書等によりその取扱いが定められており、これらによるとタイムズグループは、毎年度終了後、経費の収支状況や業務の実施状況等を記載した事業報告書を本市に提出することとされている。また、本市から支払われる指定管理料については、業務に係る人件費その他事務執行上の経費に充当することとされている。

久屋駐車場における令和元年度の経費の支出状況について事業報告書及びその他証拠書類により調査したところ、以下のような事例が見受けられた。

- ア 水道料及び場内BGM使用料について、年間を通じて経費として支出しているものの、一部の月について事業報告書への計上が漏れているもの
- イ 場内BGM使用料という同一内容の複数の支出について、「PR経費」及び「その他経費」という異なる費目にそれぞれ計上しているもの
- ウ 職員の飲料用のウォーターサーバーについて、指定管理業務に必要な経費として計上されているもの

事業報告書の記載内容が誤っている場合、指定管理料が適正に執行されているか、あるいは施設の経営状況が健全であるかなどの管理状況を正確に把握することができない。

タイムズグループにおいては、令和元年度事業報告書を修正するとともに、同様の事例が発生しないよう対策を講じられたい。

（タイムズグループ【名古屋市営久屋駐車場】）

(住宅都市局関係分)

所管課である交通施設管理課においては、各費目の内訳が分かる資料等を指定管理者から受領していないため、数値や内容が適正であるかの確認を行うことができず、こうした不備に気が付かなかった。

交通施設管理課においては、指定管理者を指導・監督する立場であることを改めて認識した上で、事業報告書を適正に作成するようタイムズグループに対して指導されるとともに、施設の指定管理に係る経費の支出状況を適正に把握されたい。

(交通施設管理課)

第6 意 見

久屋駐車場の指定管理について

直近 3年間の久屋駐車場の指定管理に係る収支状況の推移を確認したところ、収入については現指定管理者への更新時に新規サービスの導入等により指定管理料が 2,000万円以上増額になっている一方で、支出総額については横ばいあるいは減額で推移していた。そのため、現指定管理者になってからは、収支差額が大きくなっている（表 1参照）。また、令和元年度の支出について、費目ごとの予算額と決算額の差額について見ると、もともと指定管理者の利益相当分が予算額として計上されていた「その他の経費」を除くと、委託料や使用料及び賃借料等で大きな不用額が生じていた（表 2参照）。

不用額の理由について交通施設管理課に確認したところ、予算額は指定管理者の公募時におけるタイムズグループからの提案書上の提案額であり、提案時から指定管理開始までの間にタイムズグループが関係各社と金額交渉を行った結果による削減が主な理由とのことであった。一方、施設の利用実績を見てみると、平成30年度は前年度から増加したが、令和元年度には新型コロナウイルスの影響もあり再び平成29年度の実績値近くまで減少している（表 3参照）。

指定管理者制度の目的は、民間活力を導入し、市民サービスの向上を図るとともに経費の削減等を図ることである。指定管理者の利益確保の観点から、経営努力の結果による経費削減は指定管理者に還元されるべきであるものの、施設の管理経費の縮減が本市の経費削減に結びついていないことを踏まえて、次期の指定管理者の選定にあたっては、現状の施設の管理経費の詳細を分析した上で、本市の経費削減にも資するような選定に配慮されたい。

表 1 久屋駐車場の指定管理にかかる収支状況（決算額）の推移

（単位：千円、単位未満切り捨て）

区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度
収入	指定管理料	100,838	124,740	127,050
	その他	1,124	1,125	1,279
	計 A	101,962	125,865	128,329
支出 B		94,331	95,959	85,373
収支差額 A－B		7,631	29,906	42,955

（注 1）平成29年度の指定管理者は公益財団法人名古屋まちづくり公社である。

（注 2）令和元年度の金額は、令和 2年 5月29日付でタイムズグループから提出された事業報告書に記載されている金額を掲げた。

表 2 令和元年度の支出額の費目別内訳

（単位：千円、単位未満切り捨て）

費目	予算額 A	決算額 B	差額 A－B
人件費	38,721	32,749	5,971
需用費	27,216	22,164	5,051
役務費	4,185	1,311	2,874
委託料	18,583	12,038	6,545
使用料及び賃借料	9,240	4,121	5,118
備品購入費、公課費	10,070	6,970	3,099
その他の経費	16,723	6,016	10,706
計	124,740	85,373	39,366

（注 1）予算額は、公募時における提案書上の提案額と同じ金額である。

（注 2）決算額は、令和 2年 5月29日付でタイムズグループから提出された事業報告書に記載されている金額を掲げた。

表 3 久屋駐車場の利用実績

（単位未満切り捨て）

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
収入（千円）	573,924	545,187	500,919	534,470	503,883
台数（台）	598,981	574,936	552,188	554,349	540,345

（注）平成30年度以降、料金収入が収入目標額（各年度とも 600,000千円）を下回った場合は、差額の50%を本市に支払う制度としている（ただし、14,500千円を上限とする。）。

《参考資料》 監査対象の概要

1 名古屋市営久屋駐車場（所在地：中区栄三丁目 5番12号先）

(1) 指定管理者の概要

- ・名 称：タイムズグループ
- ・代表者名称：タイムズ24株式会社
- ・代表者所在地：東京都品川区西五反田二丁目20番 4号

(2) 主な指定管理業務

- ① 駐車場を一般の利用に供すること
- ② 料金の収納に関すること
- ③ 駐車場の維持管理及び修繕（原形を变ずる修繕及び模様替を除く。）に関すること

(3) 事業状況

（単位未満切り捨て）

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
駐車場の利用台数（収容台数：509台）	552, 188台	554, 349台	540, 345台
駐車場使用料	500, 919千円	534, 470千円	503, 883千円

(4) 収支状況（令和元年度）

（単位：千円、単位未満切り捨て）

収入の部		支出の部	
科 目	決算額	科 目	決算額
指定管理料	127, 050	管理運営費	85, 373
その他	1, 279	（人件費を含む）	
収入合計	128, 329	支出合計	85, 373

（注）決算額は、令和 2年 5月29日付でタイムズグループから提出された事業報告書に記載されている金額を掲げた。

2 名古屋市営金城ふ頭駐車場（所在地：港区金城ふ頭二丁目 7番 2）

（1）指定管理者の概要

- ・ 名 称：名鉄協商株式会社
- ・ 所 在 地：名古屋市中村区名駅南二丁目14番19号

（2）主な指定管理業務

- ① 駐車場を一般の利用に供すること
- ② 使用料の徴収に関すること
- ③ 駐車場の維持管理及び修繕（原形を变ずる修繕及び模様替を除く。）に関すること

（3）事業状況

（単位未満切り捨て）

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
駐車場の利用台数（収容台数：5,010台）	438,360台	453,220台	431,103台
駐車場使用料	525,370千円	569,795千円	540,404千円

（4）収支状況（令和元年度）

（単位：千円、単位未満切り捨て）

収入の部		支出の部	
科 目	決算額	科 目	決算額
指定管理料	326,175	管理運営費 （人件費を含む）	308,697
収入合計	326,175	支出合計	308,697